

ごあいさつ

校門の階段を上がったところに学校教育目標「克己 連帯 探究」が刻まれた石碑があります。この【克己 連帯 探究】は、子どもたちが、他者と協働しながら、自信をもって生きていくことができる、自立した人に育つために欠かせない力であると考えます。



「克己 がんばりぬく」

誰かに指示されたからやるのではなく、自分で「こうなりたい」「できるようになりたい」と 目標や見通しをもってやり抜く人になることを目指します。うまくいかないこと、失敗することは当然ありますが、そこから学んでやり直し、更新して いくことができます。そして、ねばり強くやり抜くなかで、着実に成長し、生涯にわたって生きて働く力となっていくと考えます。

「連帯 たすけあう」

自分も他の人も大切にすることを目指します。人を大切にする第一歩は、「自分がされていやなことは、人に対しても、しない、言わない」ことであり、誰もが気持ちよく生活していくためにみんなが守る大事な約束です。困ったら周りに助けを求めたり、困っている人がいたら寄り添って一緒に考えたりと互いに助け合いそして互いのよさやちがいを認め合うことができるようにと願っています。

「探究 かんがえぬく」

自分で考え、進んで学び続ける人を目指します。多様で複雑、そして予測困難な社会をたくましく生きていくためには、自分で考え適切に判断し、自ら行動する力が求められます。よくわからないこと、うまくいかないことに対して何とかしようと考えていく中で、自分の見方・考え方が広がり、わかった、できたと感じる喜びや楽しさ、考えることのおもしろさを存分に味わえるようにと願っています。

前述した通り、今社会は急速に変化しています。これから先20年30年後は更に加速度的に変化するでしょう。AIが人を追い越すとも、ロボットサッカーチームが人に勝つとも言われています。また、子どもたちの半分以上は、今はない職業に就くとも言われています。自分の人生を舵取りする力を育てなくてはなりませんし、社会にどんな変化が起きても、自ら課題を見出し、周りの人と協働して解決していく力をもった社会の創造者を育てなければなりません。何十年も前からこれに対応し得る学校目標を掲げていた豊野西小学校の伝統に心を動かされています。それと同時に、豊野西小学校を支えてくださっているすべての皆様のおかげにより、健やかで明るくたくましい「ゆたかの」の子どもたちが育っていますことに心より感謝申し上げます。今後ともご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

長野市立豊野西小学校
校長 丑澤 智成